

平成23年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	食品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価及び提供に係る研究事業費		担当部局庁	国立医薬品食品衛生研究所		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成20年度		担当課室	総務部会計課		渡邊 裕一		
会計区分	一般会計		施策名	VI-3-4 国立試験研究機関の適正かつ効果的な運営を確保する				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食品の安全性に関する国際機関や各国機関の最新情報、アラート情報、規制情報、評価情報などの科学的情報を専門家の立場から調査・分析し、厚生労働省担当部局、農林水産省、食品安全委員会等の関係機関や一般に提供することを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	食品の安全に関わる行政機関、リスク評価機関、地方衛生研究所等の関係者、及び一般国民に対し、食品の安全確保のため、食品関連情報の収集・調査・分析を行い関係機関や一般に情報提供する(例:BSE、新型インフルエンザ、大腸菌O104、メラミン、冷凍餃子等)。食品中の微生物や化学物質に関する国際機関や各国担当機関の最新情報や評価情報、文献情報等を要約した『食品安全情報』の発行により情報提供し、新たに生じた重要課題についても詳細な調査及び分析・評価(随時)を行う。食品添加物及び農薬・動物用医薬品のADIデータベースのデータ更新を行う。以上の情報を「食品の安全性に関する情報」ホームページ(HP)から一般に情報提供している。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	31	31	31	30	30	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	31	31	31	30	30	
		執行額	31	31	31			
	執行率(%)	100%	100%	100%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	Webページでの情報提供(トップページと「食品安全情報」)へのアクセス数	成果実績	アクセス数	約30万件	約30万件	約30万件	約30万件	
		達成度	%	100	100	100		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	「食品安全情報」の隔週、年26報(約1200ページ)の発行とWebへの掲載	活動実績 (当初見込み)	報	26(1200)	26(1200)	26(1200)	— (26) (26)	
単位当たりコスト	—		算出根拠	定期的な情報収集を行っているだけでなく、緊急時に詳細な調査を行っている。また、収集・提供する情報の量や内容も国内外のアウトブレイクの発生等に左右される。そのため、単位当たりのコストとして算出することは困難である。				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	0.2	0.2					
	試験研究費	30	30					
	計	30	30					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目・	×	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・食品安全情報データベースシステム賃貸借について、動作環境の互換性を維持する必要から当該業者以外には行うことができないため、随意契約を締結した。
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>・2003年4月より海外規制機関の食品安全に係る情報を継続して収集・評価・提供してきた。このように専門家の立場からの科学情報の提供は他にはあまり類がなく、厚生労働省をはじめとする行政規制機関に高く評価されている。現在、食品の流通は世界規模に拡大しており、汚染された各国の食品が日本に輸入される危険性が高まっていることから、今後も継続して迅速な情報収集および関係規制機関および国民への情報提供を行っていく必要がある。</p> <p>・執行管理表により支出先及び使途等について管理を行い、経費の適切な執行に努めている。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		<p>食品の安全性に関する情報の科学的・体系的収集、解析、評価及び提供に係る研究事業費について、恒常的に多額の不用が生じているわけではないものの、執行実態を精査のうえ効率化を図ること。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>事業実績を踏まえ、事業に必要な経費を精査し、消耗品費の見直しを行った。 (反映額: ▲0.5百万円)</p>			
補記(過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入

国立医薬品食品衛生研究所
31百万円



【随意契約】

A NTTファイナンス(株)
12百万円

〔食品安全情報データベース
システム賃貸借〕

事務費 19百万円

資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.NTTファイナンス(株)			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
借料	食品安全情報データシステム賃貸借	12			
計		12	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費目と使途の
 双方で実情が分かるように記
 載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	NTTファイナンス(株)	食品安全情報データベースシステム賃貸借	12	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					